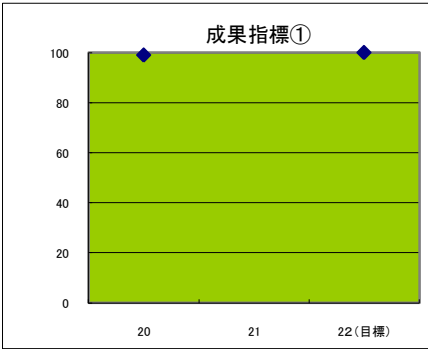
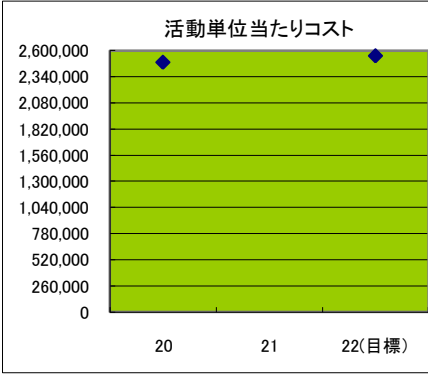


事務事業名		幼稚園まつり事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	10	教育費	
	施策(節)	2	学校教育		項	4	幼稚園費	
	施策の方向	(4)	幼児教育の充実		目	1	幼稚園費	
関連する計画等				事業	17	幼稚園まつり		
作成部署				教育委員会事務局学校教育室学校教育課				
対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4251			
市立幼稚園の園児及び保護者								
意図(どういう状態にしたいのか)								
豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める。								
事業の内容				市内14幼稚園の全園児が毎年11月に、羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。内容として、パラバルーンやダンス等幼稚園教育要領に沿った内容である。(21年度は、新型インフルエンザで中止)				
根拠法令等								
事業開始時期				☐ 昭和 8 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				
事業開始時からの状況変化				園児の減少、園児送迎バス代の値上がり				
市民や議会の要望								
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先				☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他				
				委託内容				

区 分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		761	0	753
人件費【2】 (千円)		1,725	1,797	1,797
職員数	正規職員	0.23 人	0.23 人	0.23 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.04 人	0.04 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		2,486	1,797	2,550
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	2,486	1,797	2,550
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 開催回数	回	1	-	1
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		2,486,000 円	#VALUE! 円	2,550,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		21 円	15 円	21 円



成果指標	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	参加率 (式) 参加園児数÷在籍者数×100	%	在籍園児数に対する参加者数の割合	目標	100	-	達成率(%)	100
					実績	99	-	#VALUE!	
	②	保護者参観率 (式) 参加園児数÷参観保護者数×100	%	在籍園児数に対する参観保護者の割合	目標	100	-	達成率(%)	
					実績	120	-	#VALUE!	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市立幼稚園が合同で一か所に集い、日ごろの練習成果を発表し、交流を深めることは重要である。
								○			

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	市立幼稚園全体で行う交流と友情を育む事業であり、保護者にとっても期待が大きい。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☐	☐	☒	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☒	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☐	☒	☐	単価コストが高いことが課題である。
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市内幼稚園教育を内外にアピールするとともに、楽しい遊びや交流を通じて豊かな心を育むために有効である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	保護者の協力を得ながら事業推進している。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☐	☐	☒	H21年度は新型インフルエンザのため中止
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☐	☒	
	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	年1回の開催で多額の費用を要していることと、新型インフルエンザをはじめとする感染症対策のため、中学校区単位での取組み等方法の改善が求められるところである。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	保護者の意見も聞きながら、他の効果的な手法や開催方法を含め軽減措置を検討する必要がある。

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	